

平成29年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 平成29年度第1回理事会

日 時： 平成29年5月31日（水）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成28年度事業報告及び決算報告について

議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団施設使用規程の一部改正について

議案第3号 平成29年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(2) 平成29年度第1回評議員会

日 時： 平成29年6月16日（金）10時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成28年度決算報告について

議案第2号 理事の選任及び解任について

(3) 平成29年度第2回理事会

日 時： 平成29年6月16日（金）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 理事長の選定について

議案第2号 常務理事の選定について

(4) 平成29年度第3回理事会

日 時： 平成30年3月5日（月）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成30年度事業計画及び収支予算について

議案第2号 定年を迎えた事務局職員の任用について

議案第3号 平成29年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(5) 平成29年度第2回評議員会

日 時： 平成30年3月20日（火）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成30年度事業計画及び収支予算について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：30公演40回】

30公演40回（定期公演17回、企画公演8回、研究公演2回、普及公演13回）を実施した。

ア 定期公演（15公演 17回）【年度計画：16公演18回】

組踊・琉球舞踊・三線音楽・沖縄芝居・民俗芸能で編成する。伝承されてきた古典の形態を尊重しつつ、必要に応じて上演前に解説を加える等、観客のニーズも勘案し上演している。

公 演 名	公演数	回 数
組 踊	5	5
琉球舞踊	6	7
三線音楽（古典音楽・民謡等）	1	1
沖縄芝居	1	2
民俗芸能	2	2

イ 企画公演（8公演 8回）【年度計画：7公演7回】

さまざまなジャンルの比較公演をはじめ、本土の芸能、アジア・太平洋地域を中心とする海外の伝統芸能、新作組踊等で構成する。沖縄伝統芸能の新たな可能性を求め、さらなる発展につながる公演の制作に努めている。平成29年度は、比嘉聡氏人間国宝認定を受け、急きょ記念公演を実施した。

公 演 名	公演数	回 数
組踊（新作組踊等）	2	2
三線音楽（人間国宝記念公演）	1	1
芝居（喜劇「ペーちゃんの恋人」）	1	1
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席）	1	1
その他（ゆらていく遊ば、石見神楽）	2	2

ウ 研究公演（2公演 2回）【年度計画：2公演2回】

組踊はじめ沖縄伝統芸能の活性化を目的に、現在、上演の途絶えている組踊や琉球狂言、御冠船踊などの中から復曲を試みる公演や、学問的な視点から研究に寄与する公演を制作している。

公 演 名	公演数	回 数
山内盛彬・音楽の世界	1	1
御冠船踊と琉狂言	1	1

エ 普及公演（5公演 13回）【年度計画：5公演 13回】

組踊、琉球舞踊、沖縄芝居の三つのジャンルにおいて、古典に触れる、親しむことを目的に、児童・生徒や社会人等に解説等を交え上演し、新たな観客層の開拓に努める公演を制作している。

公 演 名	公演数	回 数
組踊鑑賞教室	3	9
琉球舞踊鑑賞教室	1	1
沖縄芝居鑑賞教室	1	3

日程・演目・出演者

期 日 等					公演名・演目	出 演 者
1	定期公演	4月15日	昼	組踊	組踊「手水の縁」 第一部 琉球舞踊「若衆こてい節」「揚作田」「本嘉手久」他 第二部 組踊「手水の縁」	武富由香、仲田美香、宇座仁一、島袋君子他 東江裕吉、新垣悟、玉城盛義、嘉手苺林一、玉城匠他
2	定期公演	4月22日	昼	琉球舞踊	男性舞踊家の会 第一部 「本貫花」「高平良万歳」「天川」「波平大主道行口説」他 第二部 「本花風」「鳩間節」「花風」「金細工」「加那よ一天川」他	田口博章、阿嘉修、東江裕吉、玉城盛義他 宮城茂雄、大湾三瑠、新垣悟、川満香多、金城真次他
3	定期公演	5月13日	昼	三線音楽	島唄の響き～世替りや沖繩～ 第一部 「廃藩の武士」「軽便鉄道」「南洋小唄」他 第二部 「軍人節」「ひめゆりの唄」他 第三部 「琉米親善の唄・沖繩を返せ」「十九の春」「時代の流れ」他	知名定男、徳原清文、松田弘一、大工哲弘、大城美佐子、伊波貞子、饒辺愛子、前川守賢、我如古より子、でいご娘、島うた少女デン、安座間本流大北満の会、八木政男、吉田妙子
4	定期公演	5月27日	昼	組踊	組踊「二山和睦の巻」 第一部 琉球舞踊「天川」「傘の鳩間節」「むんじゅる」他 第二部 組踊「二山和睦の巻」	宮城裕子、又吉聖子、玉城侑香李、伊佐幸子他 佐辺良和、金城真次、真境名律弘、親泊久玄他
5	定期公演	6月10日	昼	琉球舞踊	「八重山舞踊」 第一部 「鷺ぬ島節」「仲良田節」「赤また一節」他 第二部 「まんとうま節」「くいぬばな節」「石ぬ屏風節」他	山盛久子、喜舎場慶子、新城知子、慶田盛末子、宮城千代、與那國久枝、大盛和子、登野城米子、本仲征子、堀切トキ他
6	研究公演	6月17日	昼	音楽	「山内盛彬・音楽の世界」 第一部 「王府おもろ」「舞踊・虎頭山」他 第二部 「白い煙黒い煙」「伊野波節」「三山の紹介」「ひやみかち節」他	王府おもろふ譜きゆる保存会、御座楽復元演奏研究会、石川直也、新垣悟、比嘉悦子、山内貴佑、泉恵得、マフィンズ他
7	普及公演	6月24日	昼	組踊	社会人のための組踊鑑賞教室「執心鐘入」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」	玉城匠 田口博章、新垣悟、知花令磨、山城峻弥、宮里光也
8	定期公演	7月8日	昼	琉球舞踊	「琉球舞踊鑑賞会」 第一部 「ゆるじな」「越来よ一」「金細工」他 第二部 「幸福の舞」「仲里節」「村栄え」他	皆川律子、孤島丘奈、山城亜矢乃、仲本久乃、富里敬子、伊舎堂千恵子、諸喜田千華、渡嘉敷栄子、宮里敏子、島袋光尋、島袋君子、宮城能造、宮城能舞、玉城静江、嘉数好子他

期 日 等					公演名・演目	出 演 者
9	企画 公演	7月15日	昼	組踊	新作組踊「初桜」	宇座仁一、宮城茂雄、東江裕吉、佐辺良和、川満香多、上原信次、玉城匠、上原崇弘、宇良圭祐、末吉心優他
10	普及 公演	7月29日	昼	琉球 舞踊	琉球舞踊鑑賞教室 第一部 琉球舞踊「若衆ぜい」「むんじゅる」他 第二部 舞踊劇「浦島」	平良芽美、大城一咲、新里春加他 上原信次、新城裕子、伊藝武士他
11	普及 公演	8月12日	昼	組踊	親子のための組踊鑑賞教室「女物狂」 第一部 組踊版「シンデレラ」 第二部 組踊「女物狂」	玉城匠、喜納瑛子、知花小百合、川満香多、岸本隼人、上原崇弘他 天願雄一、金城真次、阿嘉修、宮里光也他
12	組踊 公演	8月26日	昼	組踊	組踊「微行の巻」 第一部 琉球舞踊「湊くり節」「花心」「糸満乙女」他 第二部 組踊「微行の巻」	金城伊都子、宮里ゆかり、平良恵子、仲程めぐみ、仲真あけみ他 親泊久玄、宇座仁一、佐辺良和、佐喜眞一輝他
13	定期 公演	9月9日	昼	琉球 舞踊	「琉球舞踊特選会」 第一部 「作田」「花風」「恋のいさり火」他 第二部 「ちゃんな節」「波平大主道行口説」「うむい」他	島袋光晴、宮城能鳳、親泊興照、志田房子、玉城節子、佐藤太圭子、谷田嘉子、金城美枝子、宮城幸子、玉城秀子、又吉静江他
14	普及 公演	9月14日 15日 16日	昼 昼 昼	沖縄 芝居	沖縄芝居鑑賞教室 第一部 琉球舞踊「醜童」「谷茶前」他 第二部 時代舞踊歌劇「菖蒲の由来記」	伊野波昭乃、大城春香、大城瑛子、玉城秋乃他 平敷勇也、知念亜希、上原崇弘、高宮城実人、天願雄一、瀬名波孝子、赤嶺啓子、新垣正弘、大城常政他
15	定期 公演	9月30日	昼	民俗 芸能	沖縄本島民俗芸能祭 「長者の大王」「当間獅子舞」「古式エイサー」「胡蝶の舞」「しーちゃーもーい」	安座真区伝統芸能保存会 南城市当間伝統芸能保存会 手登根伝統芸能保存会 知名区伝統芸能保存会 津波古棒術保存会、津波古自治会、津波古弥勒保存会
16	定期 公演	10月7日	昼	琉球 舞踊	男性舞踊家の会 第一部 「高平良万歳」「醜童」「取納奉行」 第二部 「柳」「畑どうない」「ヤカラ」	東江裕吉、田口博章、西門悠雅、玉城匠、川満香多、石川直也、宮城茂雄、大湾三瑠、阿嘉修、宮城昭博他
17	企画 公演	10月14日	昼	その他	ゆらていく遊ば 喜劇「手水恋模様其ノ後ノ断〜続・手水の縁〜」	東江裕吉、平良大、高宮城実人、花岡尚子、玉城匠、佐辺良和、知花小百合、川満香多、宇座仁一、瀬名波孝子、嘉数好子、徳原清文他
18	定期 公演	10月28日	昼	組踊	組踊「大川敵討」〜一名・忠孝婦人〜	※台風のため中止

期 日 等					公演名・演目	出演者
19	企画 公演	11月1日	夜	三線 音楽	比嘉聰人間国宝認定記念 「人間国宝・至芸の宴」 第一部 器楽合奏「瑞雲」、 古典音楽独唱、鼎談他 第二部 組踊「執心鐘入」	比嘉聰、城間徳太郎、照喜 名朝一、西江喜春、喜舎場 盛勝、光史流太鼓保存会、 喜舎場盛勝、大城學他 宮城能鳳、眞境名正憲、嘉 手苺林一、眞境名律弘他
20	企画 公演	11月11日	夜	本土の 芸能	「国立劇場寄席」 寄席囃子の実演解説、落 語、太神楽曲芸、紙切り	田村かよ、柳家さん喬、入 船亭扇遊、三遊亭歌奴、鏡 味仙三郎社中、林家正楽、 入船亭遊京
21	普及 公演	11月15日 11月16日 11月17日 11月18日	朝昼 朝昼 朝昼 昼	組踊	組踊鑑賞教室「二童敵討」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「二童敵討」	岸本隼人 川満香多、田口博章、玉城 匠、新垣悟、石川直也、島 袋浩大、嘉数幸雅、岸本隼 人他
22	企画 公演	11月25日	昼	アジア・ 太平洋 地域の 芸能	アジア・太平洋地域の芸能 「吹く」 第一部 沖縄、大和 第二部 中国、韓国	首里王府阿波連路地楽御座 楽保存会、大湾清之、宮田 まゆみ、中村仁美、八木千 咲、善養寺恵介、芦垣翠盟他 池英旭、李艶、元長賢、金 兌映
23	企画 公演	12月9日	昼	舞踊 組踊	創作舞踊と新作組踊「太 鼓の縁」 第一部 「かなし想里」 「恋し川平路」「赤嶺里 之子」「綾結び」 第二部 新作組踊「太鼓 の縁」	浦崎みゆき、仲本のり子、 嘉数幸雅、喜屋武愛香他 佐辺良和、金城真次、阿嘉 修、石川直也他
24	定期 公演	12月16日	昼	組踊	組踊「花売の縁」 第一部 琉球舞踊 「芋引」「むんじゅる」「仲 里節」他 第二部 組踊「花売の縁」	永山玲緒奈、高嶺美和子、 新垣江里子、新垣麻里子他 眞境名律弘、親泊久玄、仲 村圭央、親泊興照他
25	定期 公演	1月13日 1月14日	昼 昼	琉球 舞踊	「新春琉舞名人選」 舞踊「作田」「取納奉行」 「むみじ葉」「暁節」「花 風」「伊野波節」「柳」「浜 千鳥」「高平良万歳」「む んじゅる」他	又吉世子、金城道枝、渡久 地美代子、古謝弘子、渡嘉 敷守良、宜保雅子、金城清 一、船越節子、山田多津子、 比嘉美好、宮城豊子、海勢 頭あける、山城洋子、宮城 能造、島袋君子他
26	企画 公演	1月21日	昼	その他	「石見神楽」 第一部 「儀式舞(神迎)」 「能舞(塵輪)」「能舞(恵 比寿)」 第二部 「能舞(鐘馗)」 「能舞(大蛇)」	岡見神遊座

期 日 等					公演名・演目	出 演 者
27	定期 公演	1月27日	昼	組踊	組踊「二童敵討」 第一部 琉球舞踊「かぎ やで風」「獅子舞」他 第二部 組踊「二童敵討」	眞境名正憲、儀保政彦、山 川昭子、大城直江、長山真 由美、吉元貴子他 玉城盛義、宮城茂雄、田口 博章、海勢頭あける、宇座 仁一、親泊久玄、平田智之、 玉城匠他
28	研究 公演	2月10日	昼 昼	琉狂言	「御冠船踊と琉狂言」 第一部 御冠船踊「二 才踊・青雲」「女踊・思 羽」他 第二部 琉狂言 「科当」「墨塗」	天願雄一、西門悠雅、知花 令磨、高井賢太郎、下地心 一郎、岡本凌他 大湾三瑠、平田智之、石川 直也、高宮城実人、玉城匠、 上原信次他
29	定期 公演	2月24日 25日	昼 昼	沖縄 芝居	史劇「護佐丸と阿麻和利」	神谷武史、宇座仁一、上原 崇弘、東江裕吉、小嶺和佳 子、花岡尚子、宮城茂雄、 金城真次他
30	定期 公演	3月3日	昼	民俗 芸能	組踊「忠臣護佐丸」(読谷 村喜名) 第一部 「座喜味棒」「上 り口説囃子」「高平良万歳」 「真福地のはいちょう」 第二部 組踊「忠臣護佐 丸」	喜味棒保存会、宇座伝統芸 能保存会、楚辺伝統芸能保 存会、瀬名波伝統芸能保存 会 喜名伝統芸能保存会
31	企画 公演	3月24日	昼	沖縄 芝居	喜劇「ペーちんの恋人」	宇座仁一、玉城匠、花岡尚 子、呉屋かなめ、高宮城実 人、上原崇弘、阿嘉修他

自主公演入場率

	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数	入場者数	入場率	座席数	目標 入場者数	目標 入場率
				(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(d)	(d)/(c)
1	4月 15日	「手水の縁」	昼	563席	250人	44.4%	565席	339人	60.0%
2	22日	男性舞踊家の会	昼	621席	554人	89.2%	619席	495人	80.0%
3	5月 13日	島唄の響き	昼	621席	514人	82.8%	619席	402人	65.0%
4	27日	「二山和睦の巻」	昼	563席	348人	61.8%	565席	339人	60.0%
5	6月 10日	八重山舞踊	昼	621席	509人	82.0%	619席	464人	75.0%
6	17日	山内盛彬・音楽の世界	昼	243席	212人	87.2%	249席	149人	60.0%
7	24日	社会人のための組踊鑑賞 教室「執心鐘入」	昼	563席	271人	48.1%	565席	396人	70.0%
8	7月 8日	琉球舞踊鑑賞会	昼	621席	571人	91.9%	619席	464人	75.0%
9	15日	新作組踊「初桜」	昼	621席	507人	81.6%	619席	464人	75.0%
10	29日	琉球舞踊鑑賞教室	昼	568席	504人	88.7%	566席	396人	70.0%

	月	日	公演名		実績			計画		
					座席数	入場者数	入場率	座席数	目標 入場者数	目標 入場率
					(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(d)	(d)/(c)
11	8月	12日	親子のための組踊鑑賞 教室「女物狂」	昼	567席	513人	90.5%	565席	396人	70.0%
12		26日	「微行の巻」	昼	567席	303人	53.4%	565席	339人	60.0%
13	9月	9日	琉球舞踊特選会	昼	621席	459人	73.9%	619席	495人	80.0%
14		14日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	564席	320人	56.7%	566席	453人	80.0%
15		15日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	448人	77.4%	579席	463人	80.0%
16		16日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	323人	55.8%	579席	347人	60.0%
17		30日	沖縄本島民俗芸能祭	昼	568席	524人	92.3%	619席	402人	71.0%
18	10月	7日	男性舞踊家の会	昼	621席	515人	82.9%	619席	495人	80.0%
19		14日	ゆらていく遊ば	昼	568席	495人	87.1%	566席	396人	70.0%
20		28日	「大川敵討」	昼	一席	一人	一%	565席	339人	60.0%
21	11月	1日	人間国宝・至芸の宴	夜	617席	405人	65.6%	一席	一人	一%
22		11日	「国立劇場寄席」	夜	621席	550人	88.6%	619席	464人	75.0%
23		15日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝	578席	471人	81.5%	578席	463人	80.0%
24		15日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	昼	578席	450人	77.9%	578席	462人	80.0%
25		16日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝	578席	460人	79.6%	578席	463人	80.0%
26		16日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	昼	578席	463人	80.1%	578席	462人	80.0%
27		17日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝	578席	475人	82.2%	578席	463人	80.0%
28		17日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	昼	578席	485人	83.9%	578席	462人	80.0%
29		18日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	昼	567席	164人	28.9%	565席	339人	60.0%
30		25日	アジア・太平洋地域の 芸能	昼	568席	200人	35.2%	619席	371人	65.5%
31	12月	9日	創作舞踊と新作組踊「太 鼓の縁」	昼	621席	378人	60.9%	619席	402人	65.0%
32		16日	「花売の縁」	昼	563席	245人	43.5%	565席	339人	60.0%
33	1月	13日	新春琉舞名人選	昼	621席	362人	58.3%	619席	402人	65.0%
34		14日	新春琉舞名人選	昼	621席	426人	68.6%	619席	402人	65.0%
35		21日	石見神楽	昼	621席	367人	59.1%	619席	371人	60.0%
36		27日	「二童敵討」	昼	563席	358人	63.6%	565席	339人	60.0%
37	2月	10日	御冠船踊と琉狂言	昼	567席	380人	67.0%	565席	339人	60.0%
38		24日	史劇「護佐丸と阿麻和 利」	昼	568席	515人	90.7%	566席	396人	70.0%
39		25日	史劇「護佐丸と阿麻和 利」	昼	579席	525人	90.7%	579席	405人	70.0%
40	3月	3日	「忠臣護佐丸」(読谷村 喜名)	昼	621席	440人	70.9%	619席	402人	65.0%
41		24日	喜劇「ペーちゃんの恋人」	昼	568席	512人	90.1%	566席	396人	70.0%
合 計					23,193席	16,771人	72.3%	23,219席	16,175人	69.7%

【年度計画：16,175人、達成率103.7%】

※「大川敵討」については、台風22号の影響により公演中止となった。

人間国宝・至芸の宴については、比嘉聰氏が人間国宝認定されたことに伴い追加公演となった。

(2) 自主公演の開催準備

平成30年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を平成29年8月16日、平成30年3月26日に開催した。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（文化観光基盤整備事業）

県外一カ所(名古屋市)において、組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

・名古屋公演：平成29年12月6日(水)／名古屋能楽堂／1ステージ

(4) 沖縄県文化観光戦略推進事業（沖縄芸能マグネットコンテンツ育成事業）

沖縄県文化観光戦略推進事業を活用し、「歌舞劇かりゆしかりゆし恋するシーサー」（平成29年12月1日～3日）」を上演した。

(5) 沖縄県・国立劇場おきなわ普及促進事業

沖縄県と国立劇場おきなわの共催により、当劇場の公演を鑑賞する機会が少ない地域（大宜味村立大宜味小学校中学校体育館(1/28)、宮古島市マティダ市民劇場(3/18)において県内巡回公演を実施した。

また、観劇に要する貸切バス費用を助成する貸切バス費用助成事業(30名以上の団体を対象)を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。

(6) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

(ア) 公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。

(イ) チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス(350団体)にチラシを配布した。

(ウ) 沖縄コンベンションビューロー(OCVB)賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

(ア) 劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

(イ) 沖縄都市モノレールの窓上広告として、年間を通じて施設案内のポスターを掲示した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄にて公演告知を行った。 沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーで公演紹介とチケットプレゼントを行った。 琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぶらざ」の行事案内欄にて公演告知と、広告欄にて広告掲載を行った。
Web	「びらつか暦」「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「びらつか暦」「おきなわ倶楽部」(以上月刊誌)、「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」「にぎやか談話室」(以上季刊誌)、「そらくる沖縄」(年1回)、

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

新 聞	沖縄タイムス 琉球新報 読売新聞 聖教新聞
テレビ	NHK、QAB RBC
We b	「うらそえナビ」「じゃらんネット」「Be OKINAWA」「沖縄電力公式フェイスブック」「ナタリー」
雑 誌	「美ら島沖縄」「Be OKINAWA」「みちしるべ南の楽園沖縄」「邦楽ジャーナル」「オキナワグラフ」「おきなわいちば」「SKYWARD」「island Guide 2017-2018」

エ ポスター等展示による劇場外イベント

(ア) 国立文楽劇場特別公演

平成30年3月10日（土）で催された国立文楽劇場特別公演、「琉球舞踊と組踊」公演に併せ、国立劇場おきなわ広報宣伝ブースにて、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布等を行った。

(イ) 国立劇場おきなわ県外公演

平成29年12月6日（水）名古屋能楽堂で催された国立劇場おきなわ県外公演、「琉球舞踊と組踊」において、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布等を行った。

オ その他

(ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 平成29年度自主公演年間予定表の多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。

(ウ) 沖縄の伝統芸能パンフレットのA3サイズ多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。

(エ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、HPへの掲載及び劇場等での配布を行った。

(オ) 2018年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び及び配付を行った。

(カ) 10月企画公演「ゆらていく遊ば」において、カレンダー、劇場グッズの販売を行い、ファン感謝デーと銘打った公演を盛り上げた。

(キ) 1月琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」の新春公演では、2日間で延べ200名に呈茶を実施し、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント（カレンダー、劇場グッズなどの詰め合わせ）を行い、新春公演の雰囲気盛り上げた。

(ク) 4月組踊公演「手水の縁」・5月三線音楽公演「島唄の響き」・組踊公演「二山和睦の巻」・6月研究公演山内盛彬・音楽の世界・普及公演「執心鐘入」・8月組踊公演「微行の巻」・9月沖縄芝居鑑賞教室・沖縄本島民俗芸能祭・1月企画公演「石見神楽」・2月「御冠船踊と琉狂言」において、劇場ロビーでパネル展示等を行った。

(7) バックステージツアーについて

地域への還元を図り、劇場への理解を深める機会を設けるため、「劇場バックステージツアー」を平成29年8月5日・6日に計2回実施し、計150名が参加した。

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

（1）研修の実施（第5期組踊研修：平成29年4月～平成30年3月）【計画：10名】

組踊（立方・地方）：第5期（10名）の1年目の研修を実施。

立方5名及び地方5名（歌三線4名、箏1名）

（2）主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢16名）

（3）養成状況

ア 主な授業 組踊実技（立方、三線、箏）、副実技（琉球舞踊、太鼓、笛）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、詞章研究、琉球古典語基礎、史跡見学、発表会、舞台鑑賞

イ 授業回数 合計492回

・組踊実技の実施（90分の308回 立方154回・地方154回）

・副実技の実施（90分の37回）

・基礎実技の実施（90分の105回）

・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の17回）

・鑑賞・見学研修の実施（90分の23回）

・研修発表会の実施2回（リハサル2回）（4回）

ウ 休暇等 夏季休暇 平成29年8月21日～9月6日

冬季休暇 平成29年12月13日～平成30年1月4日

（4）研修生発表会の実施

ア 第五期組踊研修生第1回発表会：平成29年10月19日、国立劇場おきなわ大劇場

演 目：組踊「執心鐘入」

鑑賞者数：521名

イ 第五期組踊研修生第2回発表会：平成30年3月8日、国立劇場おきなわ大劇場

演 目：組踊「二童敵討」、琉球舞踊「かぎやで風」、「かせかけ」

鑑賞者数：467名

（5）メニュー、研修実施方法等の検討

ア 組踊研修講師会議の実施（年間3回）

イ 養成事業委員会の開催

組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を平成30年3月16日に開催した。

（6）組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

ア 組踊既成者研修第7回発表会：平成30年3月17日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「忠臣身替の巻」、斉唱

鑑賞者数：193人

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

（1）図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	63	70	1	134
逐次刊行物	冊	90	166	22	278
公演・演出台本	冊	0	4	32	36
上演資料集	冊	0	10	5	15
合 計		153	250	60	463

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	30	30
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	54	54
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	54	54
DVD	枚	21	12	177	210
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	4	24	0	28
ポスター	枚	0	12	80	92
チラシ	冊	0	0	0	0
展示図録	点	0	7	0	7
冊 子	点	0	0	0	0
合 計		25	55	395	475

(2) 上演資料集

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料・論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。「大川敵討」、「花売の縁」の2演目を合計460冊刊行し、各関係機関・研究機関へ配付した。

(3) 展示

国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示することで沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるために実施した。

期 間	名 称	内 容
平成29年 4月15日(土) ～6月25日(日) 72日	第一回 企画展 「琉球・沖縄の音楽」	宮廷で発展した古典音楽や、御座楽などの中国伝来の音楽、民衆の間で長く歌い継がれてきた民謡など、琉球王国時代から現代に至るまでの音楽の歴史を、楽器や映像などの資料により紹介。また、沖縄音楽の研究者であり伝承者でもあった山内盛彬氏の、研究と人となりを紹介。
平成29年 7月8日(土) ～9月17日(日) 72日	第二回 企画展 「組踊の子どもたち」	組踊に登場する子どもたちに焦点をあて、衣装・髪結い・小道具などを紹介。あわせて、組踊マンガの原画や琉球・沖縄の伝統玩具など展示し、子どもたちも身近に感じられる内容で組踊や琉球・沖縄の伝統文化を紹介。

期 間	名 称	内 容
平成29年 10月7日(土) ～12月17日(日) 72日	第三回 企画展 「琉球舞踊のい・ろ・は」	琉球舞踊について、初めて鑑賞する方や国内外の観光客にも判りやすいよう、琉球舞踊をテーマ別に解説し、衣装や小道具を紹介。また、外国人向けに多言語(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語)の展示解説リーフレットを設置・無料配付し、琉球舞踊の魅力を紹介。
平成30年 1月13日(土) ～3月18日(日) 65日	第四回 企画展 「綱引きと芸能」	沖縄県内の綱引きや関連する芸能について、写真や衣装などを展示し、各地域の綱引きを彩る豊かな芸能を中心に紹介。また、韓国の国立無形遺産院及び機池市綱引き博物館の協力により、沖縄と多くの共通点が見られる韓国の綱引きについて、現地で使われている衣装や楽器、綱引きの様子がうかがえる模型などを展示し、綱引きにまつわる芸能の魅力を紹介。

4回の企画展示の入場者数合計(カウント数):12,280人(281日間)

【年度計画:目標来場者数12,000人(達成率102%)、計画日数281日】

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演30公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演(2回)の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数合計494人。【年度計画:4回、480人(達成率103%)】

(5) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

ア 活用実績

レファレンスルーム利用者2,444人(うち一般781人)

映像・音声視聴1,008件(1,164時間)、映像・音声複製45件(82時間)

公開資料:平成16年度～29年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(6) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、沖縄県と共催した「国立劇場おきなわ普及促進事業」による県内巡回公演(宮古島市マティダ市民劇場(3/18))に合わせて、宮古島市役所ロビーでプレ企画展示(2/5～2/9)及び、公演当日に劇場ロビーで組踊と琉球舞踊の紹介を中心とした展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること
 (1) 貸劇場等の実績状況(大劇場、小劇場、稽古室等)

平成29年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	7	11	
演劇	1	2	
舞踊	18	35	
古典音楽	3	4	
民謡	1	2	
民俗芸能	7	20	
その他	11	13	講演会等
計(1)	48	87	利用可能日数126日
目標日数		74	
達成率		117%	

※平成28年度の実績と比較すると、件数で5件の増、使用日数で20日の増。

イ 小劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	6	7	
演劇	7	11	
舞踊	26	47	
古典音楽	9	14	
民謡	0	0	
民俗芸能	0	0	
その他	26	26	講演会等
計(2)	74	105	利用可能日数191日
目標日数		119	
達成率		88%	

※平成28年度の実績と比較すると、件数で4件の増、使用日数で3日の減。

ウ 大劇場+小劇場

合計	件数	使用日数	達成率	※平成29年度計画における 目標使用日数：193日
(1)+(2)	122	192	99%	

※平成28年度の実績と比較すると、件数で9件の増、使用日数で17日の増。

エ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	166件	676.5時間
中稽古室	323件	1,004.5時間
第1小稽古室	348件	1,060.5時間
第2小稽古室	471件	1,443.0時間
第3小稽古室	414件	1,051.5時間
第5小稽古室	435件	1,107.5時間
第6小稽古室	497件	1,230.0時間
交流プラザ	73件	197.5時間
養成研修室	184件	514.5時間
会議室	2件	13.0時間
合計	2,913件	8,298.5時間

※平成28年度の実績と比較すると、件数で182件の増、使用時間で830.5時間の増。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

- ア 施設利用の情報をホームページに掲載し、また、貸劇場の空き日状況を掲載した。
- イ 劇場利用のご利用案内を校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。
- ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- エ 平成29年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- オ 稽古室のご利用案内を増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

- ア 警備業務請負契約
- イ 清掃業務請負契約
- ウ 施設運転監視業務請負契約
- エ 舞台技術常駐業務請負契約
- オ 劇場案内等業務委託契約

(2) 機械保守費

- ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
- イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
- ウ 舞台機構保守請負契約
- エ 音響設備定期保守業務請負契約
- オ 照明設備定期保守業務請負契約
- カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 文化プログラム関連事業

(1) オーディオガイドシステムの導入

平成29年11月18日(土)の普及公演 DiscoverKUMIODORI組踊鑑賞教室「二童敵討」において、4ヶ国語に対応したオーディオガイド(英語・中国語・韓国語・日本語)を提供した。

(2) 企画展示における多言語リーフレットの作製

企画展示においては、外国人向けに、外国語(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語)の翻訳パンフレット及び展示解説リーフレットを設置・無料配付し、組踊・琉球舞踊の魅力を紹介した。

(3) 外国人のための組踊ワークショップの開催

DiscoverKUMIODORI組踊鑑賞教室「二童敵討」の公演前に、外国人のための組踊ワークショップを開催した。

(4) 韓国・国立無形遺産院及び機池市綱引き博物館との交流事業(展示)

平成29年度第4回企画展「綱引きと芸能」において、韓国・国立無形遺産院及び機池市綱引き博物館の協力により、沖縄と類似点が多く見られる韓国の綱引きについて、現地で使用されている衣装、楽器、写真や模型などを借用して展示した。

また、機池市綱引き博物館学芸員Ko Dae Young氏が来沖し、展示内容の確認及び与那原町綱曳き資料館などを視察した。

(5) 韓国・国立無形遺産院との交流事業(公演)

平成29年8月5日、韓国・国立無形文化遺産院の招聘により、韓国において琉球舞踊と組踊「執心鐘入」の琉球芸能公演を行った。日本、中国、モンゴルの芸能を「三国三色」と題

した公演であり、琉球芸能が「日本」を代表する芸能として紹介され、琉球芸能の独自性、奥深さを大いにアピールすることが出来た。

(6) 組踊ワークショップ等の開催

ア 組踊ワークショップの開催

自主公演（組踊関連公演）の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを7回開催し、旅行業者と連携し組踊鑑賞ツアーを造成することで、県外観光客等の誘客を図った。

イ 県外組踊ワークショップの開催

県外において、組踊ワークショップを3回開催することで、県外における組踊の普及啓発、県外公演や組踊鑑賞ツアーへの誘客を図った。

- ・平成29年10月22日 14:00～16:00、名古屋能楽堂会議室、参加者数19人
- ・平成30年2月11日 12:00～14:00、JR博多シティ9階会議室3、参加者数25人
- ・平成30年2月12日 14:00～16:00、まつもと市民芸術館4階スタジオ2、参加者数38人

ウ しまくとぅば講座の開催

自主公演（9/16沖縄芝居鑑賞教室）前にしまくとぅば講座を開催し、沖縄芝居への関心を高め、自主公演の鑑賞促進を図った。

エ ツーリズムEXPOジャパン2017でのプロモーション活動

劇場専用ブースにて芸能関連資料の設置（パンフレット・チラシ・ポスター等）や宣材素材（チラシ・パンフレット）の配布、舞踊家・演奏家によるステージパフォーマンス、来場者との交流を行った。（イベント来場者数191,500人、パンフレット類2,000部配布、アンケートを250名に実施。）

(7) 組踊鑑賞教室に関する広告宣伝費

チラシ1種（多言語本チラシ（英語・中国語・韓国語）10,000部）を作成・配布した。ポスターは、チラシの拡大版を20部作成・掲示した。

(8) 電話通訳サービスの導入

来場する外国人に対応するため、電話通訳サービスを導入した。

8 前述の業務に附帯する業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加を図った。

会 員 数 推 移

年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952	1,992	1,810
年度	29年度													
会員数	1,636													

平成30年3月末現在会員数：1,636人【年度計画：1,900人、達成率86.1%】

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施：自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。

(ア)「半日バスツアー及び公演鑑賞会」：平成29年12月16日、参加人数39名。バスにて森川公園、丘の一本松の碑、屋良ムルチ等の組踊ゆかりの地や歌碑を巡るツアーを行い、垣花武信氏が講師を務めた。その後、劇場において、組踊公演「花売の縁」の鑑賞を行った。

(イ)「友の会新春講演会」：平成30年1月27日、参加人数97名。小劇場において、西江喜春先生（国指定重要無形文化財「組踊音楽歌三線」（各個認定）保持者）を講師に迎え、嘉数道彦（当劇場芸術監督兼企画制作課長）を聞き手に、西江喜春先生のこれまで歩まれてきた芸の道に関して講演会を実施した。

(ウ)「新作組踊「真珠道」公開稽古見学会」：平成30年3月31日、参加人数30名。平成30年4月14日上演の新作組踊「真珠道」の公開稽古見学会を大稽古室で行った。西江喜春、東江裕吉、新垣悟ほか出演者が通し稽古を行い、その様子を見学した。

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

(ア)「ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン」：既存会員から紹介を受けて新規入会した場合、入会者及び紹介者へ特典として自主公演50%割引券を進呈。

(イ)「Web新規入会促進キャンペーン」：Webチケット販売サービスから入会した場合、特典として自主公演50%割引券を進呈。

実施期間① 平成29年2月13日から9月30日まで実施。期間中、「ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン」76人、「Web新規入会促進キャンペーン」24人の計100名がキャンペーンを利用して新規入会した。また、9月30日の沖縄本島民俗芸能祭では、ロビーに「友の会入会受付特設カウンター」を設置し、来場者へキャンペーンの周知と友の会入会を促す案内を行った。

実施期間② 平成30年2月1日から実施し、5月31日まで実施予定。

エ 自主公演観劇ラリーの実施：会員サービスの充実を図るとともにチケット販売を促進するため、平成29年5月から10月まで、友の会会員限定企画「国立劇場おきなわ自主公演観劇ラリー」を実施した。毎月1公演ずつ、計6つの対象公演のうち、3公演購入した36名（3公演：21名、4公演：11名、5公演：4名）に「自主公演50%割引券」を、6公演すべて購入した1名に「自主公演50%割引券」と「自主公演ご招待券」を進呈した。

(2) 寄付金の実績

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

(単位：千円)

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	金額	1,000	350	280	1,630
収入	件数	16件	3件	19件	38件

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

(単位：千円)

		職場
募金収入	金額	465
	件数	146件

(3) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 平成29年度アクセス件数 360,491件（1日平均988件）【年間計画：296,676件、達成率122%】

イ メールマガジン（月1回発行）登録件数823件。（平成30年3月末時点）

ウ 公式Facebookページを平成26年11月に開設。「いいね！」件数1,593件。（平成30年3月末時点）